

研修名	専門課程 道路構造物（係長級）〔保全コース〕 【集合】 （昭和 36～平成 18 年度：「道路構造物設計」、平成 19～20 年度：「道路構造物」、平成 21～22 年度：「道路構造物設計施工技术」）					
目的・重点事項	<p>係長級職員が修得しておくべき道路構造物に関する知見（設計・施工・保全）のうち、特に道路構造物の保全に係る点検・検査・診断・補修補強に関する専門知識 及び技術の修得を図ることを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 道路構造物の点検・検査・診断・補修補強に至る専門知識及び技術の修得</p> <p>② 道路橋の点検に関する実務的スキルの向上</p> <p>高度成長期に作られた社会資本が急速に老朽化する中、道路構造物の保全が重要なテーマ。 ※係長級職員の道路構造物に関わる研修は〔設計・施工コース〕と〔保全コース〕に分離して実施している。本研修受講者は、可能であれば（別年度になったとしても）〔設計・施工コース〕も受講することが望ましい。</p>					
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者</p> <p>① 係長又はこれと同等の職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度以上の能力を有すると認められる者</p>					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	18	1	20	1		40
研修期間	65.5 67.0 時間 12日間			令和5年 7月 3日（月）～ 令和5年 7月14日（金）		
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義 (40.5 41.0)</p> <p>① 道路を取り巻く最近の話題、疲労について 等</p> <p>② 道路構造物概論、鋼部材の損傷と調査・診断及び補修・補強、コンクリート部材の損傷と調査・診断、道路橋の耐震性と耐震補強 等</p> <p>③ トンネル、土工、舗装の維持管理とマネジメント 等</p> <p>2. 現地実習 (8.0)</p> <p>《参考》昨年度： 実橋調査実習（鋼橋及びコンクリート橋の点検実習） 実施箇所：鋼橋（国道16号竜谷寺高架橋）、コンクリート橋（国道16号八高線跨線橋）</p> <p>3. 課題研究 (15.0 16.0)</p> <p>《参考》昨年度テーマ等： 受注者から提出された現地での診断結果を基に、道路管理者としての診断を実施し、次回点検までの措置方針を検討することのロールプレイを実施する。</p> <p>4. その他 (2.0) 67.0</p> <p>入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス 計 65.5 67.0</p>					
前年度から 主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・実施手法変更（ハイブリッド→集合） ・研修期間変更（11月→7月）※〔保全コース〕と〔設計・施工コース〕の研修期間入れ替え 					
担 当	建設部 環境安全技術研修官 (TEL:042-321-0645)					
備 考	テキスト代（予定）72,000円					